

霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルを1へ引下げ

本日（1日）11時00分に霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）に引き下げました。新燃岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなりましたが、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

霧島山（新燃岳）では、火口直下を震源とする火山性地震が令和2年12月18日から増加し、火山活動が高まった状態になったことから、12月25日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。その後、令和3年1月から火山性地震は次第に減少し、2月以降も少ない状態が続き、噴煙や地殻変動の観測データにも火山活動の活発化を示す兆候は認められていません。また、1月以降に実施した現地調査でも、火山活動の状況に特段の変化は認められませんでした。このため、新燃岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。

これらのことから、本日（1日）11時00分に噴火予報を発表して、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

今後も、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

※詳細については、気象庁HPをご確認ください。

気象庁ホームページ

ホーム > 気象庁について > 報道発表資料 > 令和3年報道発表資料 >
霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルを1へ引下げ

https://www.jma.go.jp/jma/press/2103/01c/kirishimayama_210301.html

問合せ先：福岡管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター
電話：092-725-3606 FAX：092-733-9125